

絵は読むもの？

無言館共同館主・内田也哉子さんとの対話型鑑賞会

日時 2024年12月5日(木)
16時30分開演(16時開場)

会場 立命館大学国際平和ミュージアム

1階エントランスホール

定員 100名(定員になり次第締め切ります)

入場無料

立命館大学国際平和ミュージアムは、1997年長野県上田市に開館した戦没画学生慰霊美術館・無言館と1999年から連携関係を築いてきました。2005年には無言館京都館「いのちの画室(アトリエ)」を開室しました。今年6月、立命館と無言館が連携を強化し、内田也哉子さんが無言館共同館主に就任されたことをうけて、今回の鑑賞会を企画しました。

いま美術館では「対話型鑑賞」という絵の見方が広まっています。ファシリテーターが見学者に問いを投げかけながら、絵と一緒に深く見ようとする方法です。12月5日は内田さんがファシリテーター役をつとめ、参加者のみなさんとともに無言館の絵を鑑賞します。みなさんをご参加をお待ちしています。

参加申込URL:

<https://forms.gle/6zHsCfffxr6gcwgh9>

お名前・所属・連絡先をご記入ください

※先着順での受付となります

※定員が埋まり次第、受付を終了させていただきます

※お申し込み後の「回答完了画面」または「送信完了画面」を当日受付にてご提示ください



内田也哉子

1976年東京生まれ。エッセイ執筆を中心に、翻訳、作詞、音楽ユニットsighboat、ナレーションなど、言葉と音の世界に携わる。樹木希林と内田裕也の一人娘として生まれ、幼少のころより日本、米国、スイス、フランスで学ぶ。夫は俳優の本木雅弘。三児の母。著書に『BLANK PAGE 空っぽを満たす旅』(文藝春秋社)、『ペーパームービー 新装版』(朝日出版社)、『BROOCH』(リトルモア)、樹木希林との共著に『9月1日 母からのバトン』(ポプラ社)、など。絵本の翻訳作品に『たいせつなこと』(フレーベル館)、『ママン-世界中の母のきもち-』(パイインターナショナル)などがある。近年では、Eテレ「no art, no life」(毎日曜 08:55-)の語りを担当、NHK総合アニメ「オチビサン」の主題歌『ロマンティック』へ作詞で参加、富名哲也 監督の映画『わたくしどもは。』へ出演、音楽家OLAibiと料理人 野村友里によるユニット3eye 1mouth、角銅真実らと共にアルバム『tasty life sounds』をリリースするなど幅広く活動。2024年6月、戦没画学生慰霊美術館無言館の共同館主に就任。

写真提供：文藝春秋